

The magazine for high net worth individuals

SEVEN.

MONEY CULTURE

世界を舞台に活躍する
資産家のための
マネーカルチャー誌「セブン」

11・12月号

隔月刊 Vol.015

特集

ハワイに住む。
ハワイで過ごす。

対談◎グローバル時代の資産管理

長谷川慶太郎

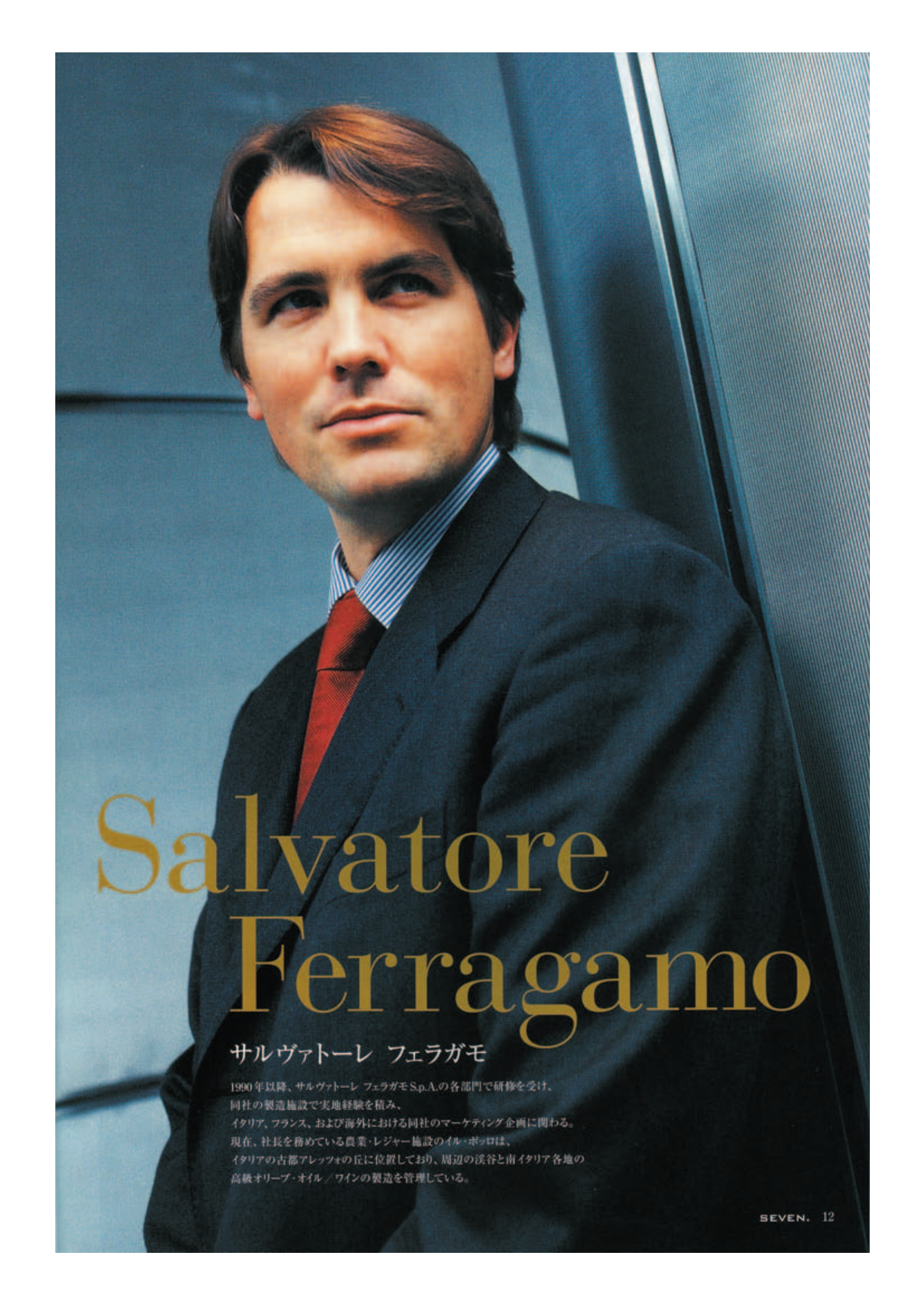
×
ジョージ・ベルニオン

世界の一流ボーディングスクール①

フィリップス・エクセター・アカデミー

特集

現代アートの聖地
ヴェネチア・ビエンナーレへ。

A portrait of a man with dark hair, wearing a dark suit, a light blue striped shirt, and a red tie. He is looking slightly to the left with a serious expression. The background is a blue, textured wall with vertical lines.

Salvatore Ferragamo

サルヴァトーレ フェラガモ

1990年以降、サルヴァトーレ フェラガモ S.p.A.の各部門で研修を受け、
同社の製造施設で実地経験を積み、
イタリア、フランス、および海外における同社のマーケティング企画に関わる。
現在、社長を務めている農業・レジャー施設のイル・ボッロは、
イタリアの古都アレツォの丘に位置しており、周辺の渓谷と南イタリア各地の
高級オリーブ・オイル／ワインの製造を管理している。

Interview Celebrity-9

祖父はマリリン・モンローや、グレタ・ガルボ、オードリー・ヘップバーンなどハリウッドの映画スターを顧客とした伝説の靴職人。

世界的なブランドを引き継いだ一族は、総合ファッションブランド企業へと拡大発展させ、さらにワイン業やホテル経営、アクティビティ事業など、多角的なファミリービジネスを展開している。成功の秘密を伺った。

インタビュー＝矢幡聡子 写真＝野地康之

——一年に何回か来日なさっていますが、今回の目的は？

日本の方々にも私たちのワインを買って頂くためです。私たちは1999年からワイン事業をスタートさせ、2001年に発売を開始しました。当初は極めて制限した生産でしたが、今は数量も増え、今後増える見通しです。日本のマーケットへの進出を決めました。今回の来日の目的は、ボルドーワインの日本進出開始イベントといえます。

——ホテル事業も大成功なさってますね。

フィレンツェには何軒ありますが、最近ではフィレンツェ以外にローマにも開業しました。ピアコンドレーテのフェラガモ店のすぐ上にある15室の小さなホテルです。

——エクスクルージヴでユニークなところと想像いたします。

ええ、そうです。「我が家を離れた我が家の存在です。ここに来てもらって、ホテルとその施設の家庭的なところを満喫してもらっています。

そしてホテル事業での一番大きなプロジェクトは、ワインで有名なキャンティ地方のイル・ポッロに父が11年の歳月を使い修復した田園リゾートです。このイル・ポッロは700ヘクタールの敷地をもつ一つの村で、村内には8つのヴィラ、教会、レストラン、宝石店、靴屋などがあり、中世トスカナの本物の

農村文化が満喫できる場所なのです。

この敷地の中で乗馬やゴルフを愉しむことができますし、もちろんワイナリーではトスカナの美味しいワインを堪能していただくことができます。

——お父様の夢を一緒に実現されているんですね。イタリアでは、ファミリービジネスが非常に成功していますが、ファミリービジネスの成功の秘訣を日本の読者に教えていただけますか。

家族の一人一人がファミリービジネス成功を目指して働いていることだと思います。ファミリーメンバーがフィロソフィーやスピリットを共有していることです。その様に家族が団結している、一つになっている、それが成功の要因でしょう。

——そして家族のそれぞれが互いを尊敬し合っていることも大切ですね。

その通りです。ファミリービジネスは一人一人の個性を生かし、それぞれ責任分担を明確化して、同じ目的意識を持っていることが大事です。ビジネスが拡大すればするほど管理することが大変になってくるのでお互いにコミュニケーションをとることを怠らず、確認していくことが大切です。

——このイル・ポッロのブランド化とプロダクトの世界進出を考えていらっしゃるようですので、ますますのご活躍を期待しています。



矢幡 聡子(やはた さとこ)

CORE S LTD.代表取締役。聖心女子学院卒業後、スイス、フランスへ留学。欧州国連本部、小谷正一事務所を経てCORE S LTD.を設立。主な仕事は、国際文化交流事業企画運営。PRコンサルタント、衛星テレビのプロデューサー、エッセイストとしても活躍。日本国連HCR協会広報委員。